

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

3a,4,7,7a-テトラヒドロ-1H-インデンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する
延長毒性試験－14日間

試験番号

6 B 7 2 9 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.204「魚類延長毒性試験－14日間」
(1984年) に準拠して実施した。

- 1)被験物質： 3a,4,7,7a-テトラヒドロ-1H-インデン
- 2)暴露方式： 流水式（定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用）
- 3)供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4)暴露期間： 14日間
- 5)試験濃度（設定値）： 対照区，助剤対照区，0.20，0.55，1.60および4.40mg/L
（公比：2.8）助剤； メルカプタールおよびHCO-30使用，濃度一定，89mg/L
- 6)試験液量： 32L／日（22.55mL/min，5.0L容ガラスビーカー使用）
- 7)連数： 1容器／濃度区
- 8)供試生物数： 10尾／濃度区
- 9)照明： 16時間明／8時間暗
- 10)試験温度： 24±2℃
- 11)試験液の分析： GC法

結 果

- 1)試験液中の被験物質濃度：試験区において設定濃度に対して±20%を越える分析結果が
あったため，以下の値は測定濃度の算術平均値を基に示した。
- 2)14日間の最小致死濃度： 3.40mg/L
- 3)14日間の最小作用濃度： 1.30mg/L

- 4) 14日間の最大無作用濃度 (NOEC) : 0.45mg/L
- 5) 7日間の半数致死濃度 (LC50) : >3.40mg/L
- 6) 14日間の半数致死濃度 (LC50) : >3.40mg/L